



編集発行所 〒990-2492 山形市鉄砲町一丁目15-64 山形県立山形西高等学校 嚶鳴同窓会 電話 023-641-3504



輝く女性の時代

会長 佐藤 伶子

今年「愛・地球博」の年。高度経済成長を目指して頑張ってきた私達が、一転して元の地球をもっと大切にしよう、価値観の変換を迫られています。いよいよ女性の出番となりました。「もったいない」で有名なケニアの環境副大臣ワンガリ・マタ伊さんはノーベル平和賞を受賞、薬害エイズを告発し続け

境を整えて行く所存です。具体的な事業につきましてもなく決定致します。近いうちに資金面で会員の皆様のご協力をお願い致しますので、ご賛同いただければ幸いです。最後に、校内理事の先生が交代したお知らせです。長年お世話下さいました栗野紘子先生が第一線から引退されまし



前年度、山形西高校の校長としての一年目は、本当に瞬間に過ぎていきました。

教員として経験する五つ目の高校でしたが、健気な心意気にあふれる生徒たち、心底から生徒を愛してやまない教員、深い情愛と知性で我が子を包む保護者の皆様の中で、校長としての私の心も、いつも素直で純粋でいられたことに感謝しております。

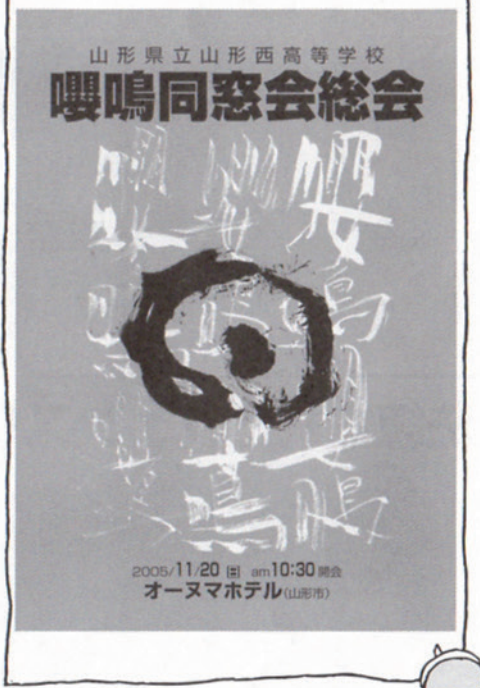
嚶鳴同窓生の皆様へ

校長 東海林 明

特に、嚶鳴同窓会の佐藤会長様、松浦・菅野両副会長様には、数多くの会議や行事のたびに学校に足を運んでいただき、いろいろなことを御相談申し上げ、生徒たちに数々のあたたかい言葉もかけていただきました。また、六月の東京同窓会、十月の全体総会では、他の高校の同窓会では実現できないような睦まじい雰囲気と、品位と感動に満ちた交流の様子を拝見して、「嚶鳴」の伝統の美しさにあらためて感動しました。同窓生の皆様は、母校での

平成17年度 総会のお知らせ

と き：11月20日(日) 午前10:30 開会 ところ：オーヌマホテル(山形市) 会 費：5000円



平成十六年度嚶鳴同窓会総会は、十一月十四日(日)オーヌマホテルにて開催され、この日を楽しみにされた大勢の同窓生にご参加頂きました。総会は、佐藤伶子会長、東海林明校長のご挨拶の後、議長に選任された松浦英子副会長により、厳粛かつ慎重に議事が進行されました。

氏物語の緑の地を訪ね歩いたり、最後には全員で「赤とんぼ」を歌いました。祝宴は、奥山武元校長より乾杯のご発声を頂き歓談しました。おいしいお料理とアカシア会館や母校周辺の様子も弾みました。会場では新潟中越地震への義援金も呼びかけられました。新旧校歌斉唱は、阿部昌司先生の指揮で美しく響きわたり、名残惜しい雰囲気の中、閉会を迎えました。

祝賀式典では、ご来賓を代表して恩師の須藤康一先生と遠藤俊久東京支部長より、母校への熱い思いを込めたご挨拶を頂きました。

響く歌声、通い合う嚶鳴の心

平成16年度 嚶鳴同窓会総会



アトラクションは、嚶鳴女性合唱団の演奏をお楽しみ頂きました。増川大輔様のチェロの豊かな響きと、古今の名曲の美しいコーラスに聞き入り、最後に全員で「赤とんぼ」を歌いました。祝宴は、奥山武元校長より乾杯のご発声を頂き歓談しました。おいしいお料理とアカシア会館や母校周辺の様子も弾みました。会場では新潟中越地震への義援金も呼びかけられました。新旧校歌斉唱は、阿部昌司先生の指揮で美しく響きわたり、名残惜しい雰囲気の中、閉会を迎えました。

時代は動いていきます。社会が直面する出来事や変革の波を前にして、どのように身を処していくか、判断が難しい時代ですが、今後も、嚶鳴同窓生の皆様、学校で学ぶ後輩たちの良き道しるべとなつてくださいますよう、心からお願いたします。

昭和59年卒 井汲 直美

西高入学と同時に美術部へ。幾星霜経て、前田春治先生のもとに学んだ仲間達と、年に一回「カッパの子展」を楽しみに絵筆を持つ。でも先生は今年散る桜とともに旅立たれてしまわれた。自然から、友との出逢いからももう瞬間の色と空気を目と心のスケッチをして、その時を大事に生きていきたいと思う。

過ぎた時代を色で表わしたら——と空想する時間はたっぷりできた。例えば—— 10代・柳の新芽のような浅緑 20代前半・父の死でるり色からスモークブルーのとき 20代後半・青紫色の日が続く 30代・異国の空の色・海の色 緋色を好んだ時もあった。 40代・深い緑と茜色 心穏やかならぬ日々は何色? 50代・母の介護と別れ 垂麻色に時々すみれ色の日 そして60代のいま—— ふと気がつくとうす紫のものが、やがて、やさしいひとときの夕やけ色に心奪われ佇む自分を想う。 これから先は、どんな色で人生を染めていくのかと、ゆううつでもあるけれど楽しんだ。赤と緑、紫と黄のような補色のな人生も劇的だろう。神秘的な色合いをだせるほどの奥深さも無い私の人生。 夕日にせなかをあざされて、 くもてらんか、を描いてみたい——と飛行機雲を追いつつ、うつつうつつ空の色を見上げていく日々である。(長岡玲子)

嚶鳴同窓会東京支部

～同窓会へようこそ～

真夏の日差しを思わせる六月二十六日、平成十七年の嚶鳴同窓会東京支部総会が東京プリンスホテルで開かれました。

山形からおいでいただいた荒木務先生はセピア色の写真を何枚もお持ち下さり「会えば五分間でセーラー服の顔さもどんの顔さもどんの顔さもどんよ。しゃーねっぷりしたらつづいでけるんだ。」と荒木節も健在！「かあ



17年度 嚶鳴同窓会東京支部総会

ちゃんとお水浴び」が若さの秘訣と、まもなく傘寿とは思えないお元気な様子でした。

東海林明校長先生からは、生徒たちは進学、就職、そして結婚、子育てまでも見えず、勉学に励んでいますとの頼もしいお話がありました。

39年卒の富樫昭子さんが創作ダンス「最上川」などのフタメンコをご披露下さり、60年卒の武田葉月さんの著書「おらだの関取・琴の若」の販売もあり、同窓生二百三十名はともにも楽しいひとときを過ごしました。

さて東京支部は今、様々にリニューアル中です。四月には59年から63年卒の方をお招きして初めての試み、ウエルカムパーティーを催し、子供

来た今、ご子息の住むシンガポールやハワイへと、夫婦一緒の時間を楽しんでおられ、幸せそうなお様子でした。

お部屋には奥様の趣味のパンフラーが、奥様が製作に行き詰まると先生は、ガーデニングの本を見てアドバイスをなさるといふ優しい旦那様なのだそうです。

百周年記念に、当時の校友会役員の皆さんと埋めたタイムカプセルを二十後に掘り出す時も、あの永遠のダンディ、江口先生にお会いできることを楽しみにしております。(訪問者 清野・青木)

頂いた体質と少々のお酒。それに数年前から「歩こう山形の会」に入会し、例会では揃って十二〜三キロ歩くそうです。「流石にこの頃は疲れな」と仰いますが、その笑顔はとも七十七歳を迎えるようには見えません。

先生は退職当時、校舎整備の工事で切られてしまう桜の姿を寂しく思い、一緒にお辞めになる先生方と、ソメイヨシノと枝垂桜を記念植樹して下さいました。

さくらんぼが赤くなり、花吹雪が舞い始めた六月十二日、第四回同窓会がグラウンダー寒河江で開かれました。二年に一度の総会です。

佐藤会長の挨拶の中に「現在の西高の整備された各建物の様子」があり、みんな学校を訪ねてみたい気持ちになりました。

新会員の紹介やお祝の披露など和やかに進められ、会計及び監査報告も承認され、総会は終了しました。

次は、山口孝子氏の講演になりました。氏は「鶴岡市国際化顧問、庄内国際交流会副

卒業六十周年記念「なでしこ会」と名付けた「しこ会」は、県外からご参加なさった方も多くいらして、総勢四十九名の顔が会場(上山温泉「古久子さんの司会」)に揃うと、忽ち話に花が咲き、すっかり第一部とし子さんのリードで「校歌」や「夏は来ぬ」の斉唱、その後安孫子愛子さんのアレンジによる炭坑節、白畑京子さんのフラダンスで一気に盛り上がり、和やかな雰囲気になりました。皆さんのお話に耳を傾けていますと、これらの人生を若々しく、明るく楽しく生きようと語りあっています。前向きな話題が多く、とても健全なあ

このようにな経験から、これから、日本女性として健やかに生きようと、大和撫子にちなみ「なでしこ会」と名付けた「しこ会」は、県外からご参加なさった方も多くいらして、総勢四十九名の顔が会場(上山温泉「古久子さんの司会」)に揃うと、忽ち話に花が咲き、すっかり第一部とし子さんのリードで「校歌」や「夏は来ぬ」の斉唱、その後安孫子愛子さんのアレンジによる炭坑節、白畑京子さんのフラダンスで一気に盛り上がり、和やかな雰囲気になりました。皆さんのお話に耳を傾けていますと、これらの人生を若々しく、明るく楽しく生きようと語りあっています。前向きな話題が多く、とても健全なあ

平成十七年度嚶鳴同窓会寒河江支部総会

すてきな仲間と共に

お話を聞きしました。

懇親会では、お二人の先輩の時代の変わりめの学校生活のお話を聞き、恒例の百円長者ゲームでは子どもに返ってジャンケンを楽しみました。

またたく間に二時になり、二年後には元気で会えることを願ひ散会しました。

(昭和32年卒 阿部和歌子)

平成十七年三月二十五日に、学校の新しいフェンス(塀)が完成しました。

このフェンスは、世界的カーデザイナーである奥山清行氏を代表とする、山形カロッツェリア研究会が考案したものです。

コンセプトは「人と人の輪」

「人と人の輪」「重厚感」「仕切りと開放感」「創造性」であり、特徴は「山形鋳物」をフェンスに使用したことです。

人と人の輪(和)をイメージしたこのフェンスは、本校の伝統である嚶鳴精神が表現され、重厚感の中に優しさもあります。また、外部から中が見えにくい構造となっており、安全性も確保され、女子高に最適です。

デザインと評判も上々のようです。(富樫由美子)



嚶鳴同窓会寒河江支部総会

卒業六十周年記念「なでしこ会」と名付けた「しこ会」は、県外からご参加なさった方も多くいらして、総勢四十九名の顔が会場(上山温泉「古久子さんの司会」)に揃うと、忽ち話に花が咲き、すっかり第一部とし子さんのリードで「校歌」や「夏は来ぬ」の斉唱、その後安孫子愛子さんのアレンジによる炭坑節、白畑京子さんのフラダンスで一気に盛り上がり、和やかな雰囲気になりました。皆さんのお話に耳を傾けていますと、これらの人生を若々しく、明るく楽しく生きようと語りあっています。前向きな話題が多く、とても健全なあ

卒業六十周年記念「なでしこ会」と名付けた「しこ会」は、県外からご参加なさった方も多くいらして、総勢四十九名の顔が会場(上山温泉「古久子さんの司会」)に揃うと、忽ち話に花が咲き、すっかり第一部とし子さんのリードで「校歌」や「夏は来ぬ」の斉唱、その後安孫子愛子さんのアレンジによる炭坑節、白畑京子さんのフラダンスで一気に盛り上がり、和やかな雰囲気になりました。皆さんのお話に耳を傾けていますと、これらの人生を若々しく、明るく楽しく生きようと語りあっています。前向きな話題が多く、とても健全なあ

山形市の閑静な住宅街、江口先生が自らお手入れなさる庭木や芳しい花々が梅雨空に映えていました。

江口先生は大学卒業後すぐ西高に赴任され、講師などを兼ねて、計二十三年間母校に勤務されました。同窓生の殆どが名前だけでも知っている、ダンディで有名な先生です。母娘二代に亘って教えるなど、世代を超えて教壇に立つことが出来たのも教師の楽しみだったと仰います。

昔は電卓もコピーもなく、ガリを切りつつ算盤片手に試験問題を作っていたと、次第に思い出が弾みました。当時、日比谷高校と西高でしか使っていなかったという教科書「LIGHT AND DELIGHT」

奥様は嚶鳴同窓会会員で、高校教師でおられたとのこと。お二人とも自由な時間が出ていないと誉めて下さいました。

江口先生は現役当時と余り変わらない体形を保ち、薬は全く必要無し。お医者様も驚く程健康でいらつしやいます。その秘訣は、ご両親から



ご自宅にて、奥様と。

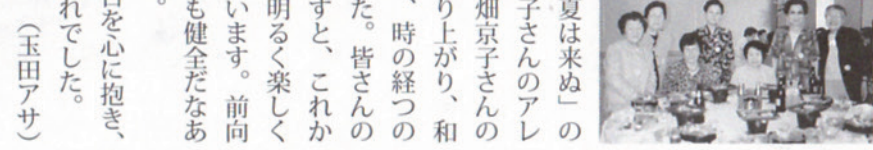
永遠のダンディ 江口 稔 先生

先生は退職当時、校舎整備の工事で切られてしまう桜の姿を寂しく思い、一緒にお辞めになる先生方と、ソメイヨシノと枝垂桜を記念植樹して下さいました。

百周年記念に、当時の校友会役員の皆さんと埋めたタイムカプセルを二十後に掘り出す時も、あの永遠のダンディ、江口先生にお会いできることを楽しみにしております。(訪問者 清野・青木)

わがクラス会 S.21・22年卒 (なでしこ会)

卒業六十周年記念「なでしこ会」と名付けた「しこ会」は、県外からご参加なさった方も多くいらして、総勢四十九名の顔が会場(上山温泉「古久子さんの司会」)に揃うと、忽ち話に花が咲き、すっかり第一部とし子さんのリードで「校歌」や「夏は来ぬ」の斉唱、その後安孫子愛子さんのアレンジによる炭坑節、白畑京子さんのフラダンスで一気に盛り上がり、和やかな雰囲気になりました。皆さんのお話に耳を傾けていますと、これらの人生を若々しく、明るく楽しく生きようと語りあっています。前向きな話題が多く、とても健全なあ



なでしこ会

- ### 在校生の活躍
- 〔東高総合体育大会・東北高総合体育大会〕
 - 登山部 最優秀賞(第1位) インターハイ出場(千葉)
 - なぎなた部 団体戦 優勝 インターハイ出場(千葉) 東北高総合体育大会 優勝
 - 個人戦 第1位 瀧口直美 インターハイ出場(千葉)
 - 第2位 清水直子 インターハイ出場(千葉)
 - 第3位 小角杏奈
 - 演技競技 第3位 小林梨紗・瀧口直美
 - 第3位 清水直子・齋藤真彩
 - サッカー部 優勝 東北大会 第3位 全国大会出場(静岡)
 - バドミントン部 団体 第2位 東北高総合体育大会
 - シングルス 小林未季 第3位 東北高総合体育大会
 - 卓球部 団体 第2位 東北高総合体育大会
 - 50M自由形 優勝 小池垂矢 東北高総合体育大会
 - 100M自由形 第3位 小池垂矢
 - 陸上部 四百M 第2位 二百M 第3位 高橋薫 東北高総合体育大会
 - テニス 団体 第3位
 - 〔全国高等学校総合文化祭出場〕(青森)
 - 音楽部・筝曲部・放送部・写真部(志鎌郁美)・美術部(本間彩夏)・文芸部(石井優子、伊藤綾夏)・弁論(伊藤真美子)・将棋(松田望)
 - 〔東高総合体育大会〕 女子・個人優勝 松田望
 - 〔山形県高校放送コンテスト〕
 - 〔アナウンス部門〕 第3位 滝口知美 全国大会出場(東京)
 - 〔ラジオ部門〕 第1位 全国大会出場(東京)
 - 〔山形県民ふれあいジュニア書道展〕
 - 山形市長賞 見玉 朝日新聞社賞 箱山 伶
 - 産経新聞社賞 本間成美

日は好日

昭和33年卒 木嶋 千春

この春、更に二つの役目が増えた。一つは音訳奉仕グループの会長役、もう一つは福祉協力員。

これまでもいろいろなことに首を突っ込んでいたが、頼まれれば「否」と強く言えない性分か、元来が雑駁な性分の為か「ええい、同時進行でやっちゃえ！」と引き受けてしまうのである。

ここでは音訳（以前は朗読と言っていた）奉仕活動について触れたい。

山形県立点字図書館が音訳奉仕員の養成講座を開講しているのを知ったのが昭和五十八年。早速申し込んで受

趣味はマラソン

昭和38年卒 田中ゆり子

昨年昭和38年卒「三八会」の学年会が選歴を記念して開催された。40余年をタイムスリップして気分は女子高生。しかし、各人の近況を伺うと夫々の歩んできた人生の重みを感じられ感動した。私はその場でマラソンへの取り組みを述べさせていただいた。

私は、看護の道を約40年歩みこの度定年を迎えた。この間単身赴任を4回経験し、家事育児を主人任せにしてで



講じた。私は六期生。翌年には同級の近岡紀子さんが入会している。一年後輩の加藤静子さんは十四期生。武田静子さんは私より早い三期生。他にも先輩が何人かいらつしやる。

音訳は只声に出して読めればいいというものではなく、標準アクセントが要求されるので、一語一語、アクセント辞典と首つびきである。視力障害者に、より良い読みが提供できるよう、自主研修等もある。

私達のグループも、一時は百名を超すほどの会員だったのが、加齢やその他の理由で退会され、現在は六十五名になあと思っている。

つくづく良い年齢になった。食材豊富なこの地に、力ま

ず日々を過ごせることに感謝している。

フリーライターという仕事柄、取材でいろいろな方にお会いします。ここ数年、シニア世代の方にお話を伺う機会が増えました。

仲間とのサークル活動や趣味に熱中している方、人生経験を生かしてボランティアに取り組んでいる方、生涯現役と仕事に意欲を燃やしている方など、元気に活動して

行った努力している。声はその時の体調や気分など恐ろしいほど反映させるので、長編小説などを読む場合は殊に健康管理に注意しなければならぬ。

活動は、テープ録音図書製作が主である。録音は自宅録音と点字図書館の録音室使用と両方だが、私は録音室に通ってやっている。

このところ病気や事故による中途失明者が急増し、録音図書の需要が多いのだそうである。

要するに好きなのである。他に趣味として俳句、生花、詩吟、日本薬用植物友の会活動や女性団体の活動など、同窓の方々ともご一緒させていただき楽しんでる。



私達のグループも、一時は百名を超すほどの会員だったのが、加齢やその他の理由で退会され、現在は六十五名になあと思っている。

つくづく良い年齢になった。食材豊富なこの地に、力ま

ず日々を過ごせることに感謝している。

フリーライターという仕事柄、取材でいろいろな方にお会いします。ここ数年、シニア世代の方にお話を伺う機会が増えました。

仲間とのサークル活動や趣味に熱中している方、人生経験を生かしてボランティアに取り組んでいる方、生涯現役と仕事に意欲を燃やしている方など、元気に活動して

いたつしやる方ばかり。こうした方たちに共通しているのは、表情が晴れやかで「笑顔」が素敵なこと。重ねた年輪が、いい笑顔をつくるんだな...と実感しました。



「笑顔」に会いたくて

昭和51年卒 たなかゆうこ



フリーライターという仕事柄、取材でいろいろな方にお会いします。ここ数年、シニア世代の方にお話を伺う機会が増えました。

仲間とのサークル活動や趣味に熱中している方、人生経験を生かしてボランティアに取り組んでいる方、生涯現役と仕事に意欲を燃やしている方など、元気に活動して

いたつしやる方ばかり。こうした方たちに共通しているのは、表情が晴れやかで「笑顔」が素敵なこと。重ねた年輪が、いい笑顔をつくるんだな...と実感しました。

そして、何人も「笑顔の達人」にお会いするうち、次第に「こんなに素敵な、山形のぼつらつシニアの方たちを、多くの人に紹介したい」という思いが募り、シニア向けの情報誌「笑顔」を発行することにしました。

それが、ちょうど二年前。この夏号で第8号になりました。A4判で8ページのやさやかな季刊誌ですが、発行し

て良かった...と思える三つの「笑顔」があります。まず、取材をお願いした方の笑顔。「自分が載ったページを、何度も読み返した。友達だちにも見せた。」「うれしくて「笑顔」を枕元に置いて寝た」。そんなふうに喜んでいただけると、原稿を書いた時の「生みの苦しみ」も一瞬で吹き飛んでしまいます。

もう一つは、読者の笑顔。ある公共施設に、発行したばかりの「笑顔」を届けに行った時のこと。ちょうど、その場にいらした女性が、すぐに「笑顔」にお会いできるか、楽しみみです。

古い美術室のこと

昭和47年卒 結城 玲子



私は古い建物に縁のある人間のような。いろいろなことを思い出すとすると、まず建物の方が先に思い浮かぶ。西高の記憶は、ささくれ

立った木の引戸から始まる。高校受験の日、緊張した面持ちで西側の古い木製の開かれた引戸から校舎へ入った。そこは校舎をつなぐ廊下で、壁

一面に中学校ごとの激励のポスターが貼られていた。当初より美大進学を目指していた私は、入学後迷わず美術部に

入部し、三年間をほぼ美術室で過ごしたといっても過言で

ない。もとより勉強は不得意かつ大嫌いであった。そんな私にとって西高は高いハードルの先にあつたが、その私

を勉強に駆り立てたのは、美大に入りた一心だったと思う。入学後も勉強は苦痛であつた。ただ目的達成のため

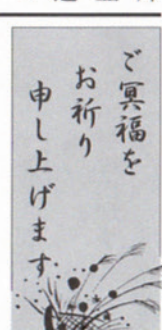
淡々と勉強し、苦痛に耐えていた。三年間どうにか無事に過ごせたのは、あの古い美術室と、前田春治先生との出会いであつたと思う。

でこに歪んでいた。部屋の片側にはおきまりの石膏像が並び、壁の高い位置に美大へ進学した諸先輩の模範的なデッサンが貼られていた。授業が終わると美術室で過ごす。三年になってからは、授業時間美術室へ行き、ネット越しの景色をぼーっと見て過ごす。そのような私を前田先生はじめ諸先生方は温かく見守って下さり、私は希望通り美大へ進学した。現在西高は、その美術室があつた辺りが正面玄関になったようで、周囲は美しく整備されている。時は過ぎて私には思い出深い木造のバラックのままの美術室である。

今年の春、前田先生の訃報をお聞きした。先生の満面の笑顔ばかりが目につくか、あのころのおおらかな時代を思い出すのである。

にしているの」と表紙に頼ずりされたのです。驚くやら、うれしいやら、ライターとして、こんなに幸せなことはありません。そして三つめは、私自身の笑顔。お会いした方に「笑顔のたなかです」とご挨拶するのと、言葉と一緒に顔も自然に笑顔になるから不思議です。

「言葉」の力でしょうか。いくつになっても生きがいをもつて、いきいきと輝いている人生の先輩たち。今度



- 川名(中田)フサ子 (昭21高女)
- 井上真理 (平7西高)
- 西谷(鈴木)のり子 (昭34西高)
- 大胡(大塚)美恵子 (昭20西高)
- 高橋(海和)宏子 (昭28西高)
- 大石(荒井)陸子 (昭20西高)
- 岸(鈴木)のぶ (昭18女師二部)
- 石沢まつ子 (昭9高女)
- 奥山(黒木)たま (昭9高女)
- 深瀬(高橋)志げ (昭9高女)
- 横尾(日野)たみ子 (昭9高女)
- 国井(吉田)正 (昭9高女)
- 岡崎(多田)悦 (昭20高女)
- 大沼(大沼)ウメ (昭6高女)
- 三井(佐東)継子 (昭35西高)
- 佐藤(菱沼)登志子 (昭9高女)
- 朝一(朝一)ヒデ (昭9高女)
- 住友(斎藤)京 (昭9高女)
- 早川(安達)テルヨ (昭9高女)
- 高橋(柳沢)育子 (昭9高女)
- 伊藤(山崎)千代江 (昭4高女)
- 宇野(宇野)昭子 (昭13西高)
- 鈴木(山田)典子 (昭21高女)
- 日野(山下)恵子 (昭11女師二部)
- 瀬下(神原)道子 (昭11西高)
- 安孫子(伊藤)道子 (昭33西高)
- 漆山(林)美澄 (昭46西高)
- 栗野(吉野)俊子 (昭2高女)
- 青木(五十嵐)明子 (昭4高女)
- 松本(熊谷)玲子 (昭36西高)
- 高橋(須貝)嘉子 (昭22西高)
- 金谷(佐久間)節 (昭42西高)
- 斎藤(松浦)孝子 (昭2033西高)
- 堀井(須藤)良子 (昭2033西高)
- 高嶋(高嶋)光子 (昭2033西高)
- 松本(荒川)和子 (昭2720高女)
- 野々村(大久保)ユキ子 (昭2720高女)
- 榎森(榎森)辰 (大14高女)
- 澤(高橋)由紀子 (昭4高女)
- 相原(大沼)睦子 (昭2445西高)
- 阿部(峯田)みつ子 (昭5高女)
- 土屋(前田)重子 (昭3833西高)
- 阿部(白井)綾子 (昭3833西高)
- 鈴木(斉藤)松江 (昭9高女)
- 鈴木(高橋)秀子 (昭9高女)
- 古沢(古沢)千代 (昭7高女)
- 渡辺(斎藤)ヨシ (大11高女)
- 金子(伊藤)淳子 (昭1611高女)
- 酒井(齋藤)よし (昭1611高女)
- 堀内信 (昭16高女)
- 森谷(鈴木)艶子 (昭1515高女)
- 佐藤(羽野)昭子 (昭1715高女)
- 宮崎(三浦)良 (昭1715高女)
- 梅田(大滝)玲子 (昭2836西高)
- 見立(見立)千代 (昭2836西高)
- 西村傳吉 (昭6高女)
- 前田春治 (旧職員)

平成16年度嚶鳴同窓会基本金決算

Table with 2 columns: 1. 収入 (Income) and 2. 支出 (Expenditure). Includes sub-section 3. 差し引き残高 (Balance). Values in Japanese Yen.

平成16年度主行事務報告

- List of events for the 16th year, including dates and locations like '同窓会会計監査', '嚶鳴三会長副会長会', etc.

平成16年度経常費決算

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes sub-section 3. 差し引き残高 (Balance). Values in Japanese Yen.

平成18年度 米寿、喜寿のお祝いについて



米寿 昭和10年高女
昭和12年女子師範一部・二部
喜寿 昭和21年高女4年卒 (入学年昭和17年)
昭和22年高女5年卒 (入学年昭和17年)
以上の方が該当学年となります。



平成16年度維持会費納入状況 (平成17年6月27日現在)

(納入者氏名省略)

- Summary of maintenance fee collection status, including total amount (384,000円) and lists of members by class and year.

平成17年度経常費予算

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Values in Japanese Yen.

嚶鳴同窓会評議員

- List of council members (評議員) with their names and graduation years.

同窓会報へのお便りをお待ちしています

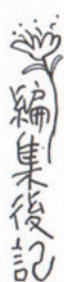


～お気軽に近況をお寄せください～

宛先: 〒990-2492 山形市鉄砲町1-15-64
山形西高校内 嚶鳴同窓会報「同窓生からのお便り」欄
お問い合わせ: Tel 023(641)3504 Fax 023(641)3516

事務局より

事務局長が交替いたしましたのでお知らせいたします。
新任 栗野 紘子
長年のご尽力、ありがとうございました。



お忙しい中、会報31号の原稿をお寄せいただきありがとうございます。
○会報編集委員(評議員)

- List of editorial committee members (評議員) including names like 木村美香, 飛鳥陽子, etc.